シリーズ特集

ナニワの元気企業

サロンスタイルで気軽にオーダーメード

株式会社エニーズ

キャラリストが客の個性を最大限に引き出せるスーツを提案してくれる

川崎昌子社長

単なる物販ではなく、専門性の高い仕事が求められるオーダーメードの事業を展開したいと、2000年2月にエニーズは設立された。

事業を立ち上げた当初は紳士服のパターンオーダーが専門だったが、「新規参入する以上、既存の企業と同じことをしていては意味がない」（川崎昌子社長）と、独自のサービスとして「キャラリスト」というコンセプトを導入した。

キャラリストはキャラクター（個性）とスタイリストを合わせた造語。採寸から顧客の希望を反映させたデザインの作成、工場とのやりとりまで、すべてがこなせる服飾のプロ。キャラリストが顧客の体型だけでなく、顧客の仕事、趣味まで考慮してスーツを提供してくれる。

現在、同社は紳士服のパターンオーダーに加え、働く女性からの「仕事に着るための理想的なスーツがない」との要望に応え、女性用スーツのオーダーメード事業にも進出。これまで女性服のプランドものだと、仕事着としても何着も持つには値段が高すぎる。逆に、あまり安いものだと、品質やデザインがいまひとつ満足できない。

これまでも女性スーツのオーダー業に進出した紳士服メーカーもあったが実態といえば、男性用の材料を使い、しかも男性用のパターンのサイズを変えただけでつくっていたため、女性らしさが感じられない。またスーツも重いし、シルエットもよくなかったという。

川崎さんは「女性が納得のいくオーダーメードの気の利いたスーツを提供したい」と、女性専科のパターンオーダーシステム「Fairy Rose」を構築し、3ブランドを柱にスーツファッションに特化。

百貨店からのパターンオーダーの受注のほか、東京、大阪の直営のアトリエラウンジ「OSAKA」（大阪市西区北堀江）「AKASAKA」（レディース専用、東京都千代田区永田町）「KANDA」（同区神田須田町）で注文を受け付けている。店舗以外に生命保険会社、証券会社などでも販売会を実施し、大きな反響を得た。

キャリア女性の支持を獲得

女性が納得のいくオーダーメードスーツを提供している

オーダーはブランドの基本デザインの中から選択し、ポケットやステッチデザインなどを好みに合わせ組み合わせることができる。

次いで数百種類の素材から好みの生地を選択、裏地やボタンも数十種類の中から選択。最後はベースとなる基準号数を選び、そこから細部の採寸調整、さらに体型を方バーする補正を行う。

スーツは約2、3週間で完成。価格はスーツ上下1着3万8000円（税別）から用意しているが客単価は6万5000円くらい。

女性用のスーツのパターンオーダーは繁雑で、クレーム産業と考えられ、実際に取り組んだ企業はいずれも失敗していたが、顧客からは「セクシーさも出しながら大人の品格も出せる『働くオンナ』にふさわしいスーツ」と評価を呼び、クレームはほとんどないという。

今後の事業展開について川崎さんは、「消費者の半歩先を行き、新しい提案をできるようにしたい。さらに韓国、台湾向けの通販サイトを立ち上げて、今後はアジアを商圏にレディーススーツならエニーズというブランドにしたい」と話している。

問い合わせは電話06（6341）0400、同社または同社カスタマーサービステレフォン（0120）61040へ。大阪市西区北堀江1―11―10アークビルディング2F。

ホームページはhttp://www.anys.co.jp/